

組婦人会巡回同朋会報告

組婦人会長 藤田美栄子

12月12日(日)午前9時30分から11時30分まで、妙覚寺(高月町東柳野)において、第3回目の巡回同朋会を開催しました。

例年2回の組婦人会研修を行っていましたが、コロナ禍の中で大勢が集まることは避けるとの判断から、昨年はやむなく中止をしました。今年も感染拡大の収束の目途が立たず、このまま何もせず任期の2年が終わってしまうことは悔やまれますので、何か新たな形として聞法の機会ができないかと検討した結果、少人数での巡回同朋会を年6回開催することになりました。6回開催の内、会員は2回出席していただくことを基本として始めました。

当日は婦人会員や組役員など総勢21名が参加してくださいました。先ず藤妙覚寺御住職の下で勤行があり、続いて美濃部組教導さんのあいさつがありました。講師は西野健太郎充滿寺御住職にお願いし「お内仏について」をテーマに、お給仕やお荘厳について学びました。3班に別れての座談会もあり、日頃の疑問や分からないことなど活発な意見がありました。質疑応答の後まとめの講義があり、有意義な研修会となりました。恩徳讃を斉唱して散会になりました。

お世話になりました皆様に感謝申し上げます。



熱心に聴聞される参加者

本山過疎化対策事業現地研修会報告

取材 広報部

去る12月8日(水)午後1時から、過疎・過密地域寺院教化支援講習会が、黒田の明德寺(秦信明住職)と柳ヶ瀬の景好寺(秦信映代務住職)で開催されました。

これは、本山企画調整局寺院活性化支援室が、過疎地域の寺院・教会や組をはじめとする共同教化の現場の教化推進をはかることを目的として実施されたものです。

当日は木曾企画調整局長や全国から委嘱された支援員の方など10名が来院され聞き取り講習が行われました。会合にはお寺からそれぞれ責任役員・総代などが出席し意見交換をしました。お寺や地域の現状、お寺の将来に対する不安や思いが話されました。「真宗の教えが伝わる場や次世代に教えを相続していく」為の教化活動をどのようにしていったらいいのか、難しい課題が話し合われました。ご門徒の篤い思いが述べられ、皆さん熱心に聞き入っておられました。



明德寺での話し合い



景好寺の出席者



真宗大谷派 長浜教区第24組 ホームページ
<http://nagahamakyoku24.main.jp>

「おさいせん」百円玉一つポンと投げて手を合わす お願いごとの多いこと

真宗大谷派 長浜教区 1・2月号

第24組 広報

発行日
2022年1月1日
第205号
発行責任者
組長 熊野 俊史

一年頭の挨拶

「あるか、いくつになるぞ、念仏もうさるべし」

組長 熊野 俊史

新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。時の流れは移り変わっていくし、加えて時代の流れはとどまることがない。時代を無視することは出来ないが、ただ言えることは、時代はどうあろうとも、新しいものは常に真実であり新鮮であるべきだということではないでしょうか。

聖徳太子は、【世間虚仮、唯仏是真】(世間は虚仮なり。仏のみ是れ真なり。)と申されている。もちろん世間に埋没している限り、世間が虚仮であることは分からない。真実の世界に触れるとき、世間の虚仮を知ると同時に、それを超えて行く道も見えてきます。真実の世界に触れることで、心の究極的なよりどころを獲得し、虚仮の世間にありながら、そこで生き抜く力を獲得することができます。現実生活を否定されたのではなく、現実生活の上に立って本当のものを求めて行かれたことと考えます。本当のものとは何か。

昨今、耳に入る言葉は、コロナ関連の様々な初めて聞く専門用語ですね。これら多くの情報がありながら、コロナを現実を受けとめずに他人事のように自分だけは大丈夫といい、さらに自分の正当性を主張し、自己(自我)への執着が続く限りは目覚めることができないので、自己(自我)への執着からの解放が、今、本当に大切なことであると思われまます。

基本、教えを念ずることを通して、自分自身の生き方を見つめ直す。忙しさに追われ、生きる意味や何を拠り所としてどのように生きていくのか等と我が身を振り返る時間を持つことを忘れがちです。どうか皆さん、いくつになっても「いくつになるぞ」と自分に聞かせて行き、さらに自分の名を自分で「あるか」と叫んで自分に呼びかけて行く、「いくつになるぞ」の声が重くひびき、無限に広がって行くための一年にしましょう。

「今を大切に」

門徒会長 山岡吉彦

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

一昨年から発生したコロナ禍により国内はもとより世界中で、多くの命が奪われたり深刻な状況が続く中、徐々に回復の兆しが見え隠れしているところでございます。このような中、皆様方には、新しい年をお迎えになられたこと心よりお喜び申し上げます。

コロナ禍により社会環境が一変し、今までの当たり前前生活をすることが出来ず、生活環境まで変化しつつある中、予断を許すことなくコロナとしっかり向き合い、新しい生活様式として受け入れをしていかなければならないと思っています。門徒会事業におきましてもコロナと共存しながら、今までの事業の中止などによる停滞を解消し、より一層の皆様方のご協力により、邁進していきたいと思ひます。

新年を迎えるというただそれだけで、心弾んだ時代はもう過去の事だと思ひていましたが、季節と共に変わらず巡ってくるということが、いかに喜ばしいことか、今改めてそのことを痛感しています。「今」を大切に、できることをやり、守るべきことを守り、心穏やかに生きること、未来は明るくなっていくと願ひたいものです。新年度におきましても皆様方と一緒に活動ができますようお願い、新年のご挨拶とさせていただきます。

今日出発 毎年初歩

社会問題研修会（人権学習）報告 社会部会幹事 村田利文

12月10日19時から充滿寺様において社会問題研修会を開催しました。講師に澤面宣了師（16組浄願寺住職）をお迎えし、『「是旃陀羅」問題について』の演題でお話いただきました。まず、観経の中の「旃陀羅」が出てくるまでの物語のくぐりを説明いただきました。旃陀羅とはインドの最下層の被差別民のことです。そして、三部経と大事にしているお経の中に「旃陀羅」という差別する言葉がでてくることはどうしてかと、1940年から問われ続けてきたことについて、年代を追って説明いただきました。限られた時間の中でしたが、「是旃陀羅」問題を分かりやすくお話いただきました。組内からご住職やご門徒の方が43名出席していただき、帰り際に「良い研修会だった」との声が聞かれました。お世話いただいた充滿寺様、ご門徒の皆様ありがとうございました。



充滿寺本堂での研修会

育成員研修会開催のお知らせ

例年、各組で住職寺族を対象に実施されている育成員研修会について、今年度と来年度は教区主催で教区内を5ブロックに分け実施されることになりました。24組は23組と敦賀組と合同で4月3日（日）午後1時から來入寺（千田）で開催されます。詳細については決まり次第連絡いたしますが、各ご住職は予定に入れていただきますようよろしくお願いいたします。

第4回門徒戸数調査に関する説明会について

日時 1月15日（土）14時より

会場 充滿寺（高月町西野）

説明内容 調査の趣旨及び調査票の記入方法

出席対象者 「住職又は代務者」及び各寺院門徒役員（責任役員または総代）

*重要な案件ですので、ご欠席の無いようお願いいたします。

○組門徒会研修 スタッフ会の開催

3月12日（土）開催予定の「組門徒会研修会」のスタッフ会を、2月26日（土）午後7時より猶存寺（高月町布施）で開催します。関係者のご出席をお願いします。

○おえかきコンテスト「デザインアミダ」作品大募集について

長浜教区では、毎年10月に五村別院にて「子ども報恩講」を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に続き、今年度も中止といたします。そこで、リモート企画第2弾として、おえかきコンテスト「デザインアミダ」を開催いたします。

ぜひ、この機会にご参加いただき、各寺院での教化活動や日曜学校などにご活用いただければ幸いです。

お問い合わせは、各お寺か長浜教務所（0749-62-0754）までお願いします。作品受付期間は、3月31日までです。

応募いただいた方には、記念品のプレゼントがあります。



帰敬式（おかみそり）のご案内（告知）

この度、親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要の厳修に先立ち、2022年5月22日に長浜教区における「慶讃法要お待ち受け大会」を開催いたします。その大会にあわせて帰敬式（おかみそり）も執行いたします。

つきましては、このお待ちお受け大会を機縁として、是非とも帰敬式を受式していただき、新たな歩みが始まります事を願い、受式の告知をいたします。

◇期 日 2022年5月22日（日）

◇会 場 長浜別院大通寺 本堂

◇その他 「申込期間」「時間（受付・開式）」「募集人数」等につきましては、現在調整中です。確定し次第、「案内チラシ」「教区ホームページ」「Facebook」等にてご案内いたします。

慶讃法要連続講座のご案内

「宗祖が歩まれた仏道を辿る」（全3回）

講師 伊藤 元氏（九州教区徳蓮寺前住職）

会場 長浜別院本堂 受講料 毎回500円

第1回 2月17日（木）「宗祖としての親鸞聖人」

第2回 3月17日（木）「真宗門徒の宗風」

第3回 4月14日（木）「帰すべきところ」

時間—13時～17時30分 持ち物—念珠・真宗聖典・筆記具等

対象—全3回出席できる方

問い合わせ・申し込み 長浜教務所まで（0749-62-0737）



組合唱団「山河サンガ」団員大募集

2016年に結成された24組合唱団「山河サンガ」は、来る6月12日（日）開催予定の結成5周年記念演奏会に向けて練習を再開しました。コロナ禍の中で練習が遠のき、自宅での研鑽をお願いしてきましたが、ようやく団員が集うことになりました。

現在新しい団員も加わり30名ほどの団員ですが、ご一緒に歌っていただける方を募集しています。仏教讃歌を中心に楽しみながら練習に励んでいます。興味のある方は、下記の練習日にお越しください。お待ちしております。

（この記事に対してのお問い合わせは、

広報委員 秦 09073548850 までお知らせください）

練習日 1月13日（木）・2月10日（木）

3月10日（木）

*いずれも14時～15時30分

会場 北部振興局（旧木之本役場）3階集会場

